モリリン

高純度ペレットで繊維製商材

国内回収ボトル原料に

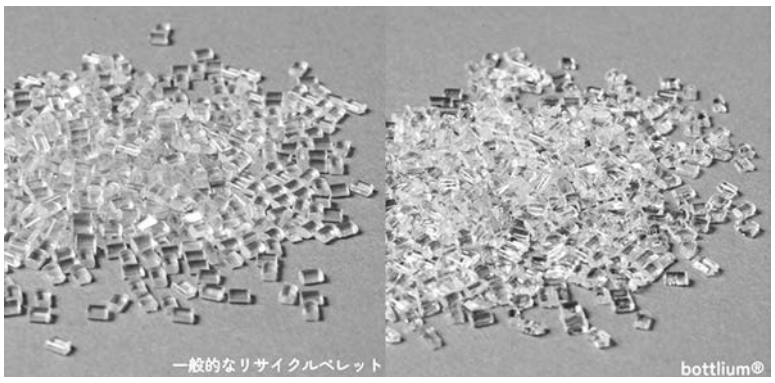
モリリンは資源回収・再生事業のトムラ・ジャパン（東京都中央区）と協業し、国内で回収したペットボトルが原料の、高純度ペレット「ボトリウム」を使用した繊維製商材を展開する。国内回収ペットボトルによる、透明で不純物がないペレットの特徴を生かす。糸・生地・製品での販売を行う。

ボトリウムはトムラ・ジャパンが国内に設置した回収ボックスにラベル・キャップを外して持ち込まれた本体が原料。回収した地域や設置場所も特定でき、トレーサビリティーが保証される。

ペットボトルを圧縮後、粉砕・洗浄・フレーク化を経てペレットにするまで、国内の環境に配慮を重ねた工程で一貫して行われる。圧縮を担う工場は水力発電による再生エネルギー100%で稼働。キューブ状に圧縮した部材を運ぶことで輸送コストや輸送にかかる二酸化炭素の排出も抑えられる。洗浄では排水の90%をろ過して再利用。薬品を使わずオゾン水とナノバブルで洗浄効果を高めた水で粉砕片を洗う。

紡糸・製糸は海外で手掛けるが〝メード・バイ・ジャパン〟原料の優位性を生かし、透明度が高くバージンと変わらない品質による安心・安全な商材の供給につなげる。自動車内装材やインテリア関連品、ユニフォームを扱う企業との協業も視野に入っており、取り組みが進むとみられる。

繊維資材グループの山田敏博取締役は「さまざまな再生ポリエステル繊維と明確な差別化ができる」と話す。10～12日に東京ビッグサイトで開かれる「サステナブルファッションEXPO」が初披露となる。「ボトリウムが持つストーリーに共感してもらえる異業種の企業を対象に、新たな取り組みが進むことを期待したい」（山田氏）。



右が「ボトリウム」。一般的な再生ペレットより透明性が高い

エフリード

来春夏に婦人服新ブランド

アクティブお散歩着提案

アパレル製造卸のエフリード（名古屋市中区）は、来春夏物から新たにブランドを冠した婦人服「ラブラドールレトリバー トーキョー」を展開する。〝街でも着られるお散歩着〟としてスポーツ・アウトドアウエアの要素を取り入れ、幅広い年代へ訴求を図る。

同ブランドは犬と暮らすライフスタイルへの憧れをもとに、1988年に東京・原宿裏通りに開店した「ラブラドールレトリバー」に由来する。洗練された都会的なリラックス感を継承してデザインに生かす。都会の中をペットとの散歩だけでなくウオーキングやスポーツ時の移動着として着られるようにファッション性とアクティブな要素を盛り込んだ。

トップスはボックス型以外に、裾に変化を加えたデザインのTシャツをそろえる。シンプルにかたどったブランドロゴでリラックス感を付与し、犬が立体的に見えるようなプリントを施したTシャツも企画。チュニック丈のシャツもそろえ、コーディネートの幅を広げる。

シンプルなロゴとデザイン

ボトムは脇にラインを加えたスポーティーなロングパンツと、ワイドシルエットのクライミングパンツやガウチョパンツなどがそろう。電動ファン（EF）付きベストやパーカ、ナイロンワッシャーのセットアップも打ち出す。

販売は2024年3月下旬から。販売価格はトップス3900～4900円、ボトム4900～5900円、ワンピース5900～6900円、EFウエアは8900円を想定する。デジタルサイネージを売り場に導入し、販促物をそろえるなど、プロモーションも手を抜かない。GMSのカセット卸以外に、セレクト系専門店やECの拡販を狙う。

クレヒフク

ワーカー以外にも訴求

ビジュアル刷新

ワークウエア製造卸のクレヒフク（広島県福山市）は、ワーカー以外への訴求を強めるために、ブランドイメージを伝える〝ビジュアル〟の刷新に取り組んでいる。先月末から販売するコーデュロイのサロペットでは、2004年にミスユニバースジャパン代表に選ばれたモデルの町本絵里氏を起用。ワークウエアらしからぬハイブランドさながらの雰囲気に仕上げた。

9月8～9日にグランキューブ大阪（大阪国際会議場、大阪市北区）で開催されたユニフォームの博覧会「第3回たまゆらフェスタ」ではワーカー以外の顧客も多く、今回のビジュアルを採用したサロペットが好評だった。

同サロペットは、「CAT」ブランドから発売。ワークウエアでは珍しいコーデュロイを採用している。生地、縫製ともに日本製で素材は綿100%。アウトドアも意識した仕様で、ポケットが配色になった大胆なデザインの10色を展開する。

「今後も目を引く商品を作っていく」（江草宏明社長）意向で、11月11～12日に朝日倉庫（広島県府中市）で開催される備後地区のワークウエアの展示即売会にも参加し、発信を強める。

ハイブランドのようなビジュアル

HLコーポレーション

疲労回復へ「アクティブに休む」ウエア

縫製業の小島衣料（岐阜市）の子会社、HLコーポレーション（東京都中央区）は疲労回復機能を持つパジャマなどを提案する自社ブランド「リフランス」の秋冬向け6品番を自社ネット通販サイトで10月から販売している。

新作のパジャマ2品番とルームウエア1品番は「アクティブに休む」をコンセプトとする。リフランスの各商品の素材にはシリカやトルマリンなど数種の天然鉱石の混合体を染色工程で含侵加工している。鉱石の発する遠赤外線に由来する疲労回復効果が見込めるとしている。

「アクティブパジャマ」は寝返りを一晩に20回打つことを目的に動きやすく設計した。生地に和晒綿布を使った柔らかな肌触りのほか、睡眠中の人体の動きを考慮した肩や股の可動を妨げない特殊な縫製仕様を取り入れた。モカ、セージブルー、ブラックの3色をそろえ、価格はレディースが2万6400円、メンズが2万7500円。

ルームウエアは元ビーチバレー選手の西村晃一さんと、妻で女子バレーボール元日本代表の菅山かおるさんが総合監修した。アスリートが実践するアクティブレスト（積極的な急用）の理論をデザインに取り入れている。

アクティブレストは疲れがたまるタイミングであえて軽く体を動かして血流を促進、疲労を早期に取り除く考え方。今回発売するルームウエアは体を締め付けず、ストレッチなどの運動がしやすいビッグシルエットとした。

トップスのプルオーバーやボトムスのジョガーパンツなどメンズ、レディースで複数のアイテムをそろえる。価格帯は1万6500～1万9800円。

ミズノ

発熱力が最大、「ブレスサーモ」プレミアムモデル

ミズノは独自の吸湿発熱素材「ブレスサーモ」採用商品の発売30周年を記念して、従来のブレスサーモ品に比べ最大温度差が約3・3℃でミズノナンバーワンの発熱力と極上の着心地を両立させたプレミアムモデル「ブレスサーモアンダーウエア厚手ウールfor極寒」（写真）を公式オンライン、全国のミズノ品取扱店を通じ9月中旬に発売した。

ブレスサーモの発熱力・保温力に加え、天然高機能繊維メリノウールを約60%複合することで、機能性と上質でしなやかな肌触りを持たせた。ウールマーク認証も取得している。

販売するのは、クルーネック長袖シャツ（メンズ、9900円）、ロングタイツ前開き（メンズ、同）、クルーネック長袖シャツ（ウィメンズ、同）、ロングタイツ（ウィメンズ、同）の4型。

バスマット専門メーカー
業務用バスマット、印入れなど
（小口も引き受けます）
岡本産業株式会社
愛媛県今治市朝倉南甲92－1
TEL　0898－56－2161・2735
FAX　0898－56－3597

「エルドレッソ」と協業

アシックスジャパン

アシックスジャパンはランニングウエアブランド「エルドレッソ」と協業したランニングコレクション5品番を9月下旬からアシックスオンラインストアや直営店などで販売している。

今回の協業は2022年夏に続く第2弾。シャツ2モデル、ショーツ、キャップ、シューズ各1モデルをラインアップする。

ウエアでは、アシックスが持つ優れた機能性や快適性にエルドレッソならではのデザイン性を掛け合わせた。

シューズでは、フルマラソンでサブ4（4時間未満での完走）を目指すランナーに向けた「S4」を販売。カーボンプレートを搭載しており、スピード、安定性、安全性、サブ4の4要素を備える。

販売アイテムは、半袖シャツ（写真、6600円）、総柄半袖シャツ（9350円）、マルチポケットランニングショーツ（1万5400円）、ランニングキャップ（4400円）、S4（2万4200円）。

「すみっコぐらし」との第2弾

「エニィファム」

オンワード樫山が展開するファッションブランド「エニィファム」は2日、人気キャラクター「すみっコぐらし」と協業した子供服（写真）を発売した。同ブランドが、すみっコぐらしと協業するのは2回目。

肩部分がレースになったレイヤード風デザインと、キャラクターをポシェット風にデザインしたスエットなどを提案。また、総柄デザインとチェックのボトムスがセットになったルームウエアをオンライン限定で販売する。同ブランドの実店舗と通販サイト「オンワード・クローゼット」で展開している。